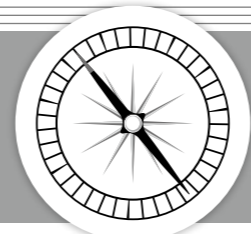


まちかど 特派員のページ



こうかまちかど特派員

木村 三奈



地域市民センター 東西南北



▲皮剥ぎ間伐を体験する参加者

「水源の森」で豊かな自然を体感 [甲賀大原地域市民センター]

甲賀愛林クラブと大原自治振興会の共催による「上下流連携の森づくりの集い」が7月31日、甲賀町神の大原ダム奥の森林で開催されました。

集いでは、琵琶湖を水源とする淀川水系の下流に暮らす大阪府豊中市と源流に暮らす甲賀市から約180人の親子らが参加し、皮剥ぎ間伐や薪割り体験のほか、カブトムシ捕りなども楽しみました。

昼食には地元産の米や野菜、イノシシの肉を使った料理が振る舞われ、自然の恵みを満喫するとともに、森林の果たす大切な役割を再認識しました。

水文化のルーツを「箱膳」の活用で探る

[山内地域市民センター]

8月8日から11日の4日間、山内エコクラブが中心となり関西学院大学生の実習を受け入れました。
今回は、昔の農耕を主とした家族の食事スタイル「箱膳」を蘇らせ、その活用を地域創生に役立てようと最終日には体験ツアーも開催されました。
体験ツアーには、語り部、調理部隊と地域の方にも参加してもらい、意見交換した中で、「当たり前だったモノ・コトに新発見がある」を確認し、これからの地域づくりに役立てる提案がなされました。



▲蘇った箱膳料理

夜空のきらめき

[甲南第二地域市民センター]

恒例の杉谷夏まつりが8月6日、杉谷公民館前で開催されました。まつりでは、8年前から花火が打ち上げられています。

花火が夜空に舞い上がるたびにBGMのように歓声が沸き起こる夏の夜のひとときは、世代に関係なく地域で大変喜ばれています。

地域の方が花火を見つめる姿は、健康や安全を祈り、夢や希望をふくらませるなどさまざまな思いで見ているように映りました。



▲夜空に舞い上がる打ち上げ花火

百歳体操のあとは、和風紅茶、びっしり

[朝宮地域市民センター]

百歳体操に取り組まれている上朝宮ささゆりクラブの皆さんは、現在14人で平成26年4月から朝宮コミュニティセンターで活動されています。
8月3日には、百歳体操のあと、水分補給と交流を兼ねて、地元朝宮産の和風紅茶でティータイムを楽しみました。
「百歳体操のおかげで体も軽くなり、毎週水曜日が楽しみです」と喜んでおられます。
年々参加者も増え、心身ともにリフレッシュされているようです。



▲朝宮の和風紅茶を楽しむ皆さん

ママの笑顔は、子どもの笑顔につながる 子育てサークル「寺庄あそびの広場 へキサゴン」

毎月第1月曜日に子どもと一緒に楽しい時間を過ごす子育てサークル「寺庄あそびの広場 へキサゴン」を紹介します。

一緒に楽しめよう

「へキサゴン」は今年で2年目の新しいサークルで、今年度はリーダーの大谷久美子さん、サブリーダーの廣未知世さん、森田幸代さんの3人が中心となって活動をされています。また、子育て支援ボランティアの方もサークル活動を支援されています。皆さん初めてのサークル活動のリーダー役なので、「大変ではないですか?」と聞くと「参加しているママさんたちと一緒に楽しく活動していますよ」と笑顔で答えていただきました。話しやすく温かい人柄のリーダーが皆さんを迎えてくれますので、初めての方もぜひ気軽に参加してほしいです。

毎月第1月曜日に楽しい交流

サークル活動は、原則毎月第1月曜日の10時〜12時(お弁当持参で15時まで可)に寺庄公民館で寺庄区在住の未就園児と保護者を対象に行われています。

9月の取材した日は、お誕生日会がありました。親子で一緒に記念写真を撮り、手



▲楽しく遊ぶ参加者

サークルは、笑顔につながる場所

寺庄は、新しい家がたくさん建ち、引っ越してくる方も増えている地域です。引っ越してきた方の中には、家族やお友達と遠く離れたしまったママも多いかもしれません。家の近くにママ同士が気軽に集まって喋れる場所、ママが楽しいと感じることができたら、お子さんもきっと同じように楽しいと感じてくれるはずです。サークルに参加する方や支援してくれる地域の方と一緒に子育ての大変さや不安や悩みを少しでも共有して、育児を楽しんでもらいたいのです。

これからも「へキサゴン」の素敵な輪がどんどん広がっていきますように。そして、他の地域にも同じようにつながれる場所ができるというなと思っています。



▲お誕生日会で手形を取る子ども

問い合わせ先
へキサゴン ボランティア隊代表
岡部 智光 ☎86-333009
山本 三和子 ☎86-33374
小寺澤 清子 ☎86-25114